

# あしたへ活かす 多職種ケースカンファレンス！ ～支援者の心に焦点づけたメンタライジング体験を通して～

日々の支援のなかで、支援者自身の心が揺れちゃう💧ことや、これでよかったのかな…🌀とモヤモヤが残る体験はないでしょうか？

今回の研修では、支援者自身のメンタライジングをベースに、ケースの理解を深める事例検討を体験します。こころの動きをみつめ感じたことやそこから考えたことを話し合う、新しいケースカンファレンスの機会をぜひ共有しましょう。

～メンタライジングとは？～  
自身と他者の行動の背景にある心理を理解しようとする姿勢・こころの作業です。

現地会場・オンライン  
ハイブリッド開催

2023年

10月1日 日曜日

13:00～16:30

ケース検討②の事例提供者を募集します！  
詳しくは裏面をご覧ください

- \* 講義「メンタライジングカンファレンスについて」(講師: 崔 炯仁)
- \* ケース検討①デモンストレーション: 「摂食障害の事例」
- \* ケース検討②体験: 「食行動異常がある方の事例」

対象

精神保健福祉士、社会福祉士、臨床心理士、公認心理師、作業療法士、医師、看護師、保健師  
管理栄養士、薬剤師等、専門職としての守秘義務を守れる方

開催方法

現地会場・オンライン(Zoom)のハイブリッド

申込方法については  
裏面をご覧ください

現地会場

ウイングス京都 2階 会議室3・4・5・6  
(京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地)

定員

現地会場: 30名 / オンライン: 40名

崔先生講演動画「摂食障害  
とメンタライジング・アプ  
ローチ」を期間限定でご視  
聴いただけます。  
※視聴期間は参加費支払い後～10/31までです。

動画特典  
付き！

参加費

5,000円

※2023年1月29日に開催した「SEEDきょうと支援者のためのワークショップ」に参加された方は、4,000円(特典動画なし)もお選びいただけます。

## 申込方法

9月24日(日)  
申込〆切

①右のQRコード、または下記のURLから参加申込フォームにアクセスし、必要事項を記入のうえ、送信してください。

<https://forms.gle/XxX9nZ2ayBf6jnss7>

②フォーム回答後、1週間以内に主催者から送られる申込受付完了のメールを確認し、メールでご案内する支払い方法にて参加費をお支払いください。

※「[seminar@seedkyoto.net](mailto:seminar@seedkyoto.net)」からのメールを受信できるように設定してください。

※支払い方法は、「クレジットカード決済」または、「銀行振込(ゆうちょ銀行)」のどちらかをお選びいただけます。

\*定員に達し次第、申し込みは終了させていただきます



## 事例の募集について

「食行動異常がある方のケース」について、事例を提供してくださる方を募集します。支援者自身の心が揺れるケースや、これでよかったのかなという心残りがあるケースについて、支援者自身の悩みや迷いをメンタライズすることを通して、ケースの理解を深める機会になればと思っています。

事例の提出を希望される方は、申込みフォームの「事例提出に関する希望」の項目で、「事例提出を希望する」にチェックをつけていただき、簡単な事例の概要等についてフォームにお書きください。

ご応募いただいた方の中から1名選ばせていただき、提供をお願いする方には9月10日頃にメールでご連絡いたします。

事例の提出に関する希望は【**8月31日(木)提出〆切**】となりますので、ご注意ください。

※ケースのテーマを「食行動異常がある方のケース」としてはいますが、事例検討で扱う内容は、食行動そのものだけではなく、身近な人との関係性や自己イメージに対するネガティブな感情、死にたいほど辛い気持ち等があらわれた場面を、自由にお選びください。

※事例提供する方が、当事者の了承をとっていただき、個人が特定されないようご配慮をお願いします。

## カンファレンスの主旨

崔 炯仁【いわくら病院 精神科医・SEEDきょうと 理事】

日ごろ行っている症例検討会は、当事者のこころの理解や診断・見立て、今後の治療・支援の方向性を話し合う形式が多いですが、ケースの提示が長くなり準備が大変であったり、焦点がぼやけたり、また場合によっては経験ある人の見立てを「教えてもらう」場になってしまったりしがちです。

支援者自身のメンタライジングをベースとしたケースカンファレンスは、詳細な生育歴や治療・支援歴の検討はせず、また、今後の方針を決定する場でもなく、提示者がその当事者と自身との間でどんな心のやりとりが起こっていたのかわからず、理解を深めたいような1つの場面を話し、「提示者がそのやりとりの中でどんな気持ちだったか」という点をカンファレンスに参加するメンバーとともに話し合うというメンタライジングに焦点を絞ったカンファレンスです。

メンタライゼーションに基づく治療(MBT)が行われていたイギリスの聖アン病院で行われていたカンファレンスを参考にしたのですが、近年は同じくメンタライゼーションを用いた、困難を抱える若者のチーム支援ツール・AMBIT(Adaptive Mentalization-Based Integrative Treatment)の中心的な役割を果たすThinking Together(TT)として日本でも紹介され、注目を浴びています。

今回はTTとしてお伝えすることはできませんが、支援者の側のメンタライジングに焦点づけるカンファレンスはとても新鮮な気づきを与えてくれますので、是非体験してみてください。

## 主催・問い合わせ先

NPO法人 SEEDきょうと

\*TEL: 075-748-7834 (火曜～金曜 10:00～17:00)

\*ホームページ: <http://seedkyoto.net/>

\*E-mail: [seminar@seedkyoto.net](mailto:seminar@seedkyoto.net)

できるだけメールで  
お問い合わせください